

■開催要領

1. 日 時 平成16年8月27日(金) 13:20～18:00 (集合 13:15)
2. 会 場 独立行政法人 産業技術総合研究所・臨海副都心センター
〒135-0064 東京都江東区青海二丁目41番地6 (会場詳細は会場案内参照)
3. 主な日程
 - (1) 開 会 13:20 主催者挨拶・日程等説明
 - (2) ご挨拶 13:30～13:50
 - ◆産業技術総合研究所・産学官連携部門・部門長 小川高志氏
 - ◆産業技術総合研究所・先進製造プロセス研究部門・部門長 神崎修三氏
 - (3) 研究成果等の発表 13:15～15:15
 - ①「超音波プロセッシングー材料、環境、バイオ技術への応用を目指して」
 - ②「難加工性金属材料の成形技術の開発について」
 - ③「最近の微細加工について」
 - ④「地域中小企業支援型研究開発制度について」
 - (4) 見学会 15:20～16:40(2班に分かれて見学)
臨海副都心センターの見学
 - (5) 交流会 16:50～18:00(日本科学未来館7F)
講師・研究所の方々と交えた参加者全員の交流会
4. 募集対象 原則として中小企業製造業の経営者および技術担当者等
5. 定 員 40名(先着順)程度
6. 募集締切 平成16年8月20日(金)
(但し締切日以前でも定員になり次第締切といたします。)
7. 参加費 無料
8. 申込方法 (参加申込書)をE-mail又はFAXでお送りください
(企業のプロフィールを必ず記入してください)

講師等ご紹介

①「超音波プロセッシングー材料、環境、バイオ技術への応用を目指して」

超音波を溶液に照射することにより生ずるキャビテーション現象では、ごく限られた領域、時間に高温、高圧の極限状態が発生する。さらに振動する気泡の周りにはマイクロストリーミングといわれる特有の流れが形成される。これらの超音波固有の現象とそれらを材料創製、環境浄化、あるいは殺菌などのバイオ関連技術に応用するうえでのメリットおよび最近の成果等についてご紹介いたします。

講師 超音波プロセス研究グループ・グループ長 飯田康夫氏

②「難加工性金属材料の成形技術の開発について」

金属系の材料の中には変形能に乏しいにもかかわらず、優れた特性を有する材料がある。本研究グループではこれらの材料について、塑性加工と粉末法を用いた形成法の開発を行っており、そのいくつかの例についてご紹介いたします。

講師 難加工材成形研究グループ・グループ長 松崎邦男氏

③「最近の微細加工について」

マイクロナノレベル加工の最近の動向について、高周波通信用スイッチ、微小ポンプ、バルブ、マイクロ燃料電池、マイクロ衛星用スラスタ、微細成形装置等、産総研での開発例を中心にご紹介します。

講師 マイクロ実装研究グループ・グループ長 前田龍太郎氏

④「地域中小企業支援型研究開発制度について」

講師 つくば産学官連携センター ものづくり基盤技術支援室長 山中忠衛氏

【研究に関するお問合せ】

産業技術総合研究所(<http://www.aist.go.jp>)
産学官連携部門(つくば) TEL 029-862-6162